



2014年3月期決算説明資料 株式会社バイテック

1. 2014年3月期 決算状況

(百万円)

	2013/3月期	2014/3月期		
		公表値	実績	前期比
売上高	102,242	120,000	109,038	106.6%
売上総利益	6,751	—	8,122	120.3%
売上総利益率	6.6%	—	7.4%	—
販管費	5,828	—	6,341	108.8%
営業利益	922	1,700	1,781	193.2%
経常利益	892	1,700	1,797	201.5%
当期純利益	624	1,150	1,301	208.3%

<売上高>

- ①メガソーラー向け太陽光パネルおよび売電収入が売上に寄与
- ②車載向け半導体、多機能プリンタ向けCPU等が好調に推移
- ③デジタルカメラ向けイメージセンサー/小型液晶パネルの売上が減少

<売上総利益>

利益率の高い海外商材、環境エネルギービジネスのシェア拡大により、売上総利益率が上昇

<営業利益・経常利益・当期純利益>

営業利益 前期比193%、経常利益 前期比201%、当期純利益 前期比208%となり、大きく拡大。

2. セグメント別 売上高・営業利益

単位:百万円

		2013/3月期	2014/3期	前期比
デバイス ビジネスGP	売上高	99,552	104,226	104.7%
	営業利益	978	1,399	143.1%
	(営業利益率)	(1.0%)	(1.3%)	-
環境・エネルギー ビジネスGP	売上高	2,694	4,811	178.6%
	営業利益	-55	381	-
	(営業利益率)	-	(7.9%)	-
連結売上高		102,242	109,038	106.6%
営業利益		922	1,781	193.0%

➤ デバイス事業、環境エネルギー事業共に売上増を達成。

➤ デバイス事業

売上1000億円超を達成。海外商材の増加により利益率が改善。

➤ 環境エネルギー事業

前期比178%となる売上高48億円となり大きく拡大。

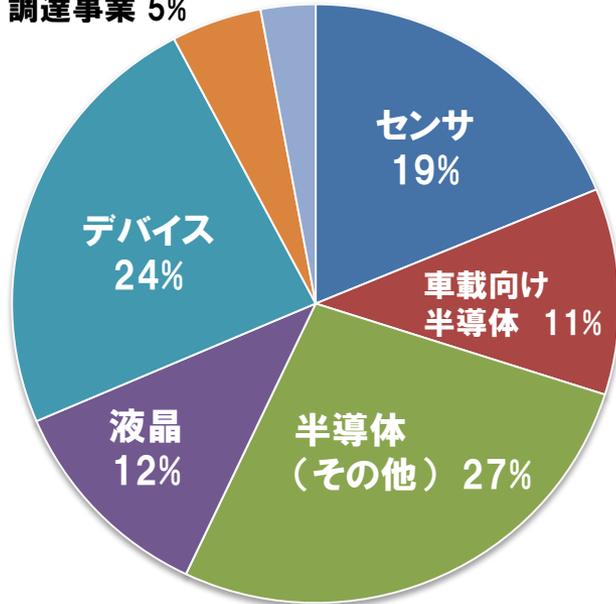
前期営業赤字から黒字化。営業利益率は7.9%となり高利益率を確保。

金額ベースで3.8億円となり、全営業利益に占める割合が21%に増加。

3. デバイスビジネスグループ売上高内訳

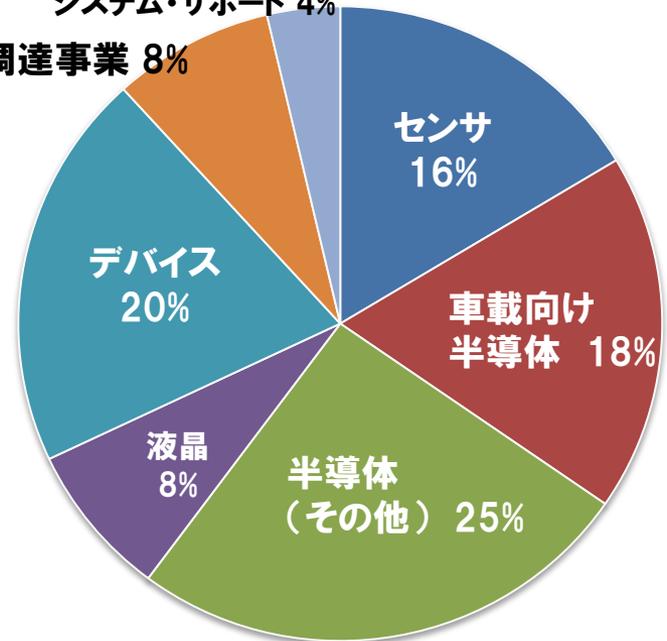
2012年度 996億円

システム・サポート 3%
調達事業 5%



2013年度 1,042億円

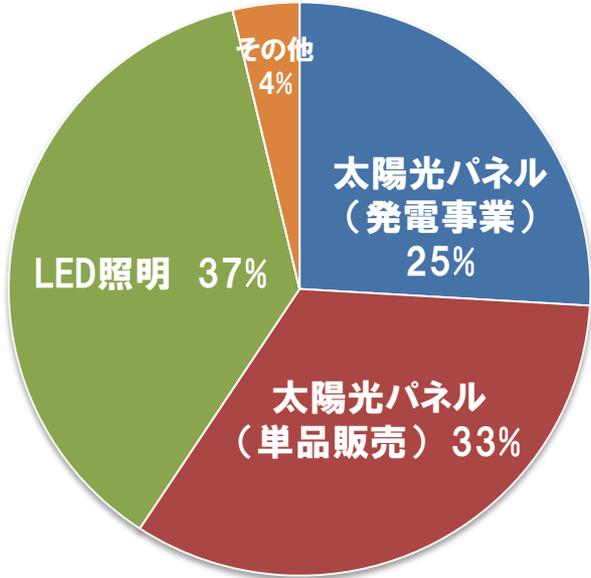
システム・サポート 4%
調達事業 8%



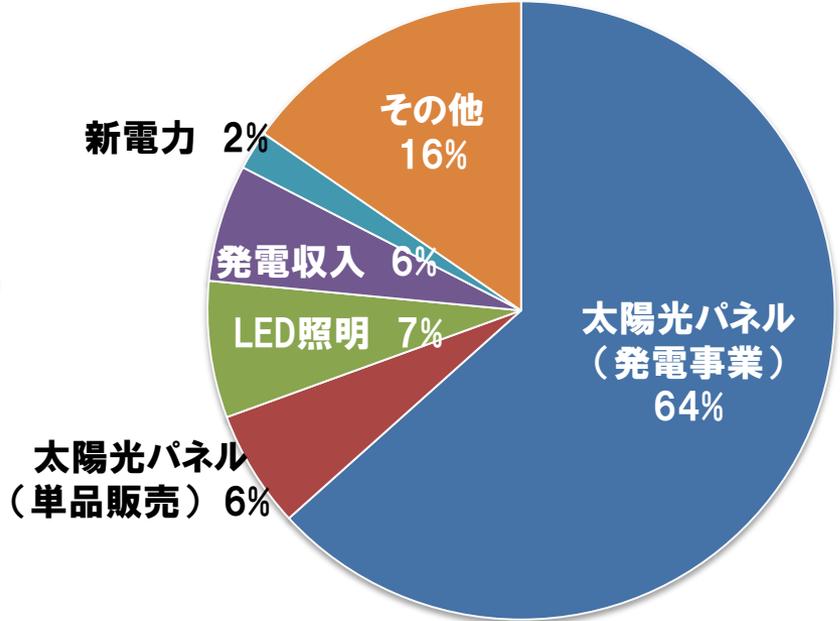
センサ	・顧客の生産台数見直しによるコンパクトデジタルカメラ用イメージセンサの販売減少。
車載向け半導体	・自動車市場好調により車載用DSP(チューナーIC)、カーナビ用GPSモジュール等の販売が拡大。
半導体(その他)	・マルチファンクションプリンタ、放送機器向けCPUやSTB(TV接続機器)向けIC等好調。
液晶	・仕入先メーカーの再編に伴う商流変更により小型液晶パネルの取扱減少。
デバイス	・照明向けLEDパッケージ、液晶向け透明電極材料の販売が拡大。 ・液晶保護膜として使用されるフッ素化学製品の販売減少。
調達事業	・大手メーカー向け部品調達代行ビジネスが拡大。
システム・サポート	・計測機器販売で米国向けカーオーディオ評価用汎用機の販売好調。

4. 環境エネルギービジネスグループ売上高内訳

2012年度 27億円



2013年度 48億円



太陽光パネル(発電事業)	2013年度新たに建設したメガソーラーは7か所(累計9か所)、合計出力13,720kWとなり、メガソーラービジネスが拡大。同事業向け太陽光パネル売上が拡大。
太陽光パネル(単品販売)	太陽光パネルの単品販売については減少。
発電収入	当社が事業主である複数のメガソーラーの発電収入が売上に貢献。(詳細次ページ)
LED照明	主要仕入先のLED照明ビジネスの撤退の影響により販売金額が減少。
新電力	株式会社V-Power(当社グループ)で電力購入および売電をスタート。
その他	パワーコンディショナー、防犯灯等の販売が拡大。

5. 当社メガソーラー発電実績(2013年度)

売上高:289百万円
収益 :125百万円(43%)



2013年度 発電実績 (千円)		
発電所	項目	実績
小竹	発電売上	119,906
	発電収益	60,447
那須塩原	発電売上	88,090
	発電収益	33,355
中之条	発電売上	20,640
	発電収益	5,379
藤岡市	発電売上	20,543
	発電収益	7,161
神流町	発電売上	6,700
	発電収益	▲ 1,401
その他 <small>※中之条(2件)、伊勢</small>	発電売上	33,813
	発電収益	21,049
合計	発電売上	289,693
	発電収益	125,990

<参考:当社メガソーラー>

1号:福岡県小竹町(2013年3月竣工 出力2,000Kw)



2号:栃木県那須塩原市(2013年3月竣工、出力1,500Kw)



3号:群馬県中之条町(2013年9月竣工、出力1,000Kw)



※神流町の発電収益のマイナスは雪害の影響によるもの

6. トピックス

① バイテックグローバルソーラー設立

当社グループでは株式会社バイテックグローバルソーラー(以下VGS)を2014年2月に設立し、太陽光モジュール生産に参入いたしました。VGSは世界有数の太陽光モジュール/ウェハーメーカーであるレネソーラ社(中国)の部材と生産方式を導入し、株式会社サンエス(日本)との技術提携によりコスト競争力と品質に優れた太陽光モジュールを供給してまいります。2014年度に80MW(メガワット)相当の生産を計画しており、生産した太陽光モジュールは国内および海外で販売を予定しております。また、今後は太陽光モジュールに加えて蓄電池の共同開発を推進し、産業用・家庭用製品を国内外に販売してまいります。



② フルセグモジュール開発

バイテックは、ソフトバンクiPhone向けに、国内・海外パートナー企業と連携し、ポケットフルセグ(iPhone向けフルセグTV視聴用チューナーモジュール)を開発しました(2014年3月14日～発売開始)。継続して新規製品の開発を行ってまいります。



7. 2014年3月期 貸借対照表

単位:百万円

科目	前期末 2013年3月31日現在	今期末 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	27,358	33,383
固定資産	6,711	8,889
有形固定資産	5,014	7,162
無形固定資産	182	231
投資その他の資産	1,514	1,496
資産合計	34,069	42,273
負債の部		
流動負債	22,077	25,760
固定負債	2,671	4,512
負債合計	24,748	30,272
純資産の部		
株主資本	9,475	11,872
その他の包括利益累計額	△155	116
少数株主持分	0	11
純資産合計	9,320	12,000
負債純資産合計	34,069	42,273

資産合計:42,273(前期比+8,204)。
主に売掛金及びリース資産増加による。

負債合計:30,272(前期比+5,524)。
短期借入金及びリース債務増加が主要因。

純資産合計:12,000(前期比+2,680)。
主に公募増資により資本金及び資本剰余金増加による。

自己資本比率:前期27.4%→今期28.4%となり、着実に改善。

8. 2015年3月期 連結決算の見通し

単位:百万円

	2014/3期(実績)	2015/3期(予想)	前期比
売上高	109,038	130,000	119.2%
営業利益	1,781	2,400	134.8%
経常利益	1,797	2,100	116.9%
当期純利益	1,301	1,400	107.6%

- 売上高は前期比119%の130,000百万円、営業利益率は前期を0.2%上回る1.8%となり、2,400百万円となる見込。利益率の高い海外商材、環境エネルギービジネス関連商材の増加が貢献。経常利益、当期純利益共に前期を上回り、増収増益見込。
- デバイスビジネスGP
NXP製品(車載向けIC)、SK-Hinix製品(メモリ)、インテル製品等、海外商材を中心に好調を維持。
- 環境エネルギービジネスGP
自社メガソーラー案件増加により、発電収入拡大。太陽光パネル、パワーコンディショナー等、太陽光関連商材の売上が引き続き好調見込。
- グループ会社
VGS(バイテックグローバルソーラー)製造の太陽光パネル販売、V-Powerの電力売買事業が拡大見込。

9. 配当方針

**当社は、安定配当を基本に、
業績に応じて積極的な利益還元を
図ってまいります。**

年間予想：30円（中間15円、期末15円）